



「江の島丸」コラム

船員の職人技

江の島丸の航行中は、ワッチと呼ばれる当直体制を敷いています。当直任務についているものは、船橋内で舵やレーダーを操作したり、機関室内の点検などを行っています。

当直体制以外の船員はどのようなことをしているか、その様子を今回のコラムでご紹介します。海洋観測を行っているときは、次の観測地点に到着するまで数十分間の時間があるので、僅かな時間を有効に活用して、網の補修等をおこなっています。船員の職人技をご覧ください。

1 破れたタモ網の補修



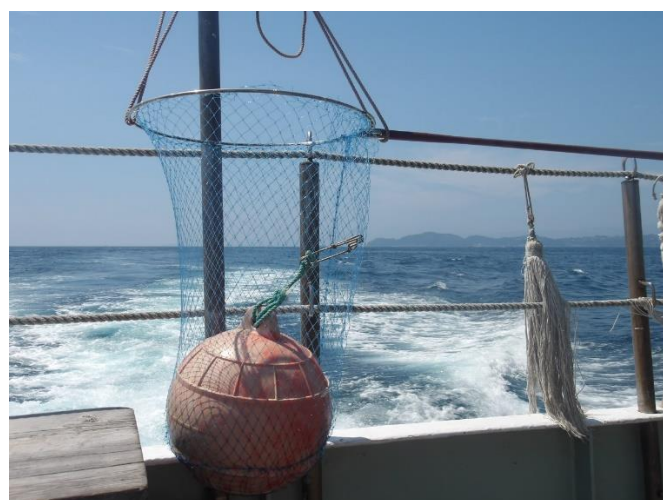
網が大きく切れたので取り外しました



枠に取り付ける網を作製します



船員が網を縫っている状況です

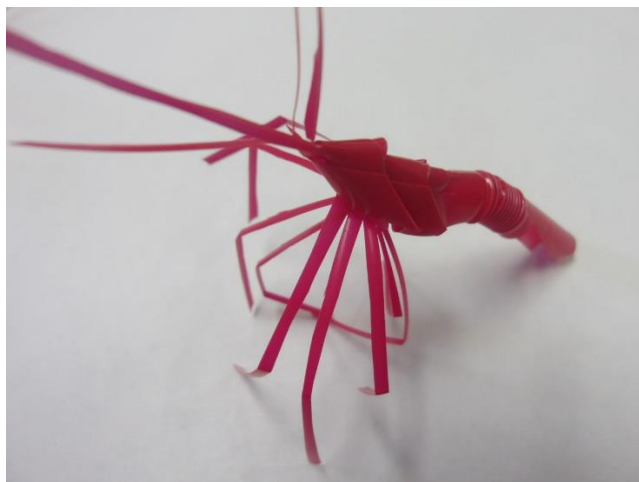


網を枠に取り付けて完成です

2 疑似エビ作製



ストローをハサミで切って製作しているものは、なんとエビです



エビが群れているようです



釣り針に取り付けて疑似エサの完成です

このエビはトラフグの底はえ縄調査等で試してみる予定です。

船員は手先が器用な者が多く、短時間で繊細な作業を行います。

揺れる洋上で下を向く作業は船酔いを誘発しますが、慣れと言うのでしょうか。かなり大きな波でも平然と作業をしています。笑

船員って基本的に鉄人だなと痛感します・・・